

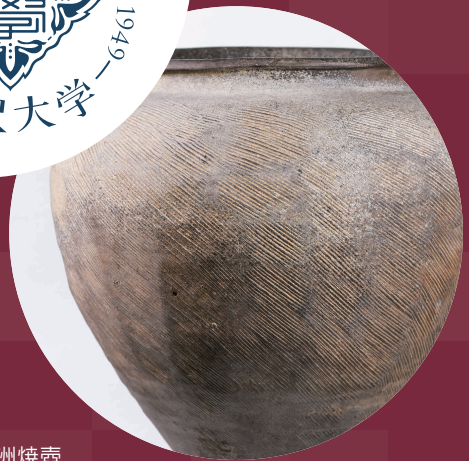
Vol.71

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-02-18 キーワード: 作成者: 金沢大学資料館 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/0002002203

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License.



資料館だより



珠洲焼壺
(平安時代末, かほく市余地経塚出土)

CONTENTS

- 1… TOPICS
- 2… 展示活動報告/ワークショップ
- 3… 投稿
- 4… 開催案内/移管・寄贈資料

TOPICS

地震と豪雨で被災した文化財の救援に関するフォーラムを金沢と七尾で開催



石川県では、2024(令和6)年1月1日の能登半島地震によって、人だけでなく文化財も大きな被害を受けました。いずれも、能登地域の貴重な財(たから)です。そこで当館では、被災文化財の救援に貢献するために、文化庁の令和6年度Innovate MUSEUM事業に「能登半島地震被災文化財デジタルアーカイブ事業」を申請し、採択を受けました。

その一環として、9月7日に石川県立図書館にて「被災文化財救援フォーラム2024金沢」(上掲写真)を、12月8日には七尾サンライフプラザにて「被災文化財救援フォーラム2024七尾」(左上写真)を開催しました。前者では、北林雅康氏(七尾市教育委員会スポーツ・文化課文化財復旧保全対策室・主幹)、小谷竜介氏(独立行政法人国立文化財機構文化財防災センター・文化財防災統括リーダー)、杉井健氏(熊本大学文学部歴史学科歴史資料学コース・教授)に地震で被災した文化財の救援、すなわち文化財レスキューについてご講演いただきました。能登半島では、金沢でのフォーラム後に豪雨被害も発生したため、後者では上記3名の方々に、令和2年7月豪雨の被災文化財のレスキュー経験を持つ帆足俊文氏(熊本県教育庁教育総務局文化課・課長補佐)を加えてご講演いただきました。

両フォーラムとも、実に多くの方々にご参加いただき、文化財レスキューに対する関心の高さがうかがえました。今年度のInnovate MUSEUM事業では、被災文化財のデジタルアーカイブ化が大きな柱となっており、「石川デジタルミュージアムネットワーク(略称IDMN)」(<https://idmn.w3.kanazawa-u.ac.jp>)に各デジタルデータを順次追加予定です。



IDMN

展示活動報告

特別展

2年ぶりの特別展。会期57日間で2,400名超の来館者を達成！！

会期 令和6年7月25日～10月20日 会場 資料館展示室

特別展「古代エジプト3000年の墓地を掘る—エジプト、サッカー遺跡発掘調査最新報告展—」を開催しました。本学の古代文明・文化資源学研究所とエジプト観光考古省の合同調査隊長である河合望教授(当館教育・展示部門長)が監修し、北サッカーで発見されたグレコ・ローマン時代のカタコンベの実物大模型を展示したほか、臨場感あふれる発掘現場の動画やカタコンベの3Dスキャニング画像(TOPPAN制作)も展示しました。関連企画の特別講演会も含めて県内外から多くの来館者があり、大学博物館の存在を印象づける絶好の機会となりました。



アウトリーチ展

城内アウトリーチ写真展を開催！

会期 令和6年10月19日～11月5日 会場 金沢城公園河北門



本学ホームカミングデイの時期に合わせて、恒例のアウトリーチ写真展「あこのころの金沢大学」を金沢城公園河北門で開催しました。城内キャンパス時代(特に昭和40～60年代)を中心とした写真36点のほか、XR技術による城内キャンパス体験アプリを大型モニターでプレイできるように設置しました。また、デジタルサイネージを用いて、本学の歩みや現在の活動などを紹介しました。会期中は悪天候の日もありましたが、国内外から1万名を超える来場者があり、城内キャンパス時代の本学を広く知っていただける最良の機会となりました。

美術展

「金沢大学美術コース展」開催

会期 令和6年10月25日～11月1日 会場 資料館展示室

今年度も、本学人間社会学域学校教育学類美術教育専修による「金沢大学美術コース展」を開催しました。美術教育専修の学生・教員・卒業生と本学学校教育学類附属小学校児童による作品たちが、展示室を鮮やかに飾りました。



ワークショップ

ヒエログリフ体験ワークショップを開催！



小中学生を対象にした夏休みワークショップ2024「この絵はどんな文字?～古代エジプトの象形文字・ヒエログリフを書いてみよう～」を8月2日に開催しました。河合望教授や大学院生の指導の下、筆ペンと本物のパピルスを使って自分の名前をヒエログリフで書き、しおりにして持ち帰りました。しおりの完成後、河合教授による特別展のミュージアムツアーを実施し、カタコンベの実物大模型等を鑑賞しました。子どもたちからは「実際にヒエログリフを書けて楽しかった」、「エジプトのことをよく知ることができた」等、うれしいコメントをいただきました。

学生企画展を通して感じたこと～令和6年度学生企画展「コトづて」～

【全体を振り返って】

今年度の学生企画展は、「コトづてー伝えたい事、伝えたい言」と題し、「伝える」をコンセプトとした企画展を開催しました。企画展の方向性をまとめることに時間を要しましたが、その分、それぞれの実習生が来館者に伝えたいことを真摯に考え、実習生全員の想いが込められた展示構成を練ることができました。企画展全体について振り返ると、テーマを一から実習生で決め、資料調査、展示レイアウト、チラシデザインの全てを実習生主体で考える作業は、ほとんどの実習生にとって初めての経験ばかりで、戸惑う部分も多くあったと思います。また、実習生全員の意見を取り入れながら一つの展示をつくっていくためにはどうすればよいのか、苦心しました。企画立案から展示作業までを通して、非常に大変な経験ではありましたが、それと同じくらい非常に貴重な期間でもありました。展示作業の最後のライティングを終えて展示室が完成した瞬間は、大きな達成感がありました。この経験を今後の人生の糧にしていきたいと思っています。



私自身は全体のリーダーとして、作業の進行や全体をまとめる役割を務めました。人に指示を的確に出し、大勢の学生をまとめることは、想像以上に困難なものでした。私の場合は、授業が終わる度に、他の実習生と反省会を開いていました。そんなリーダーのもとでも、各班の班長をはじめとして多くの実習生が協力的に動いてくれたため、厳しいスケジュールのなかでも展示を無事に完成させることが出来ました。本当にありがとうございました。

今回、企画展を実施するにあたり、担当の先生方、資料館職員の方々、CLAの方には様々な面でご助力いただきました。心より感謝申し上げます。

人間社会学域人文学類 4年 大木愁仁

人間社会学域人文学類 4年 大木愁仁

【副リーダー・デザイン班の作業を振り返って】

学生企画展の準備では、副リーダーとしてメンバーと協力しつつ、デザイン班の一員としてビジュアル制作に携わりました。企画展のテーマが「伝える」という抽象的なものだったため、メンバーそれぞれで「伝える」の捉え方が異なり、コンセプトや方向性の統一に苦労しました。いったん全員が同じ方向に向けたと思っても、班ごとに分かれて作業を進めるうちに考え方がずれてしまい、「そんなつもりじゃなかったのに」と感じる場面もありました。この経験を通じて、意思疎通と「報連相」の大切さを改めて実感しました。

デザイン班では、ポスターやキャプションのデザインを担当し、フォントや配色、レイアウトの調整に細心の注意を払いました。Adobeソフトの操作も初めてで苦戦しましたが、班員と意見を出し合いながら試行錯誤し、全体の統一感を保つよう努めました。デザインのひとつひとつが展示の印象を大きく左右することを学び、達成感を得ると同時に責任の重さも感じました。

この経験を通じて、新しい技術を習得する喜びや、他者と協力してひとつのものを創り上げる意義を学びました。今後、博物館を訪れる際には展示のデザインや構成にも注目し、違った視点で楽しむことができると思っています。

人間社会学域人文学類 4年 池上小雪

開催案内

企画展

「妙成寺の建造物パネル展」

会期 令和7年2月3日～3月14日 会場 資料館展示室

羽咋市滝谷にある妙成寺には、近世の貴重な建造物が立ち並んでおり、本堂や五重塔など10件が国の重要文化財に指定されています。その価値と魅力を発信するために、石川県主催で県内各所を巡回するパネル展を開催しています。このたび、2025(令和7)年2月3日～3月14日に、当館展示室にて同展を開催します。妙成寺が旧国宝だった頃の写真など、当館限定の展示も予定しています。ぜひ足をお運びください。

移管・寄贈資料

令和6年5月～令和6年10月
移管・寄贈資料

今期も貴重な資料を寄贈していただきました。当館にて大切に保存し、活用させていただきます。ここに、改めて感謝申し上げます。

寄贈

- | | |
|---|-----------|
| ・ 第四高等学校時代の教科書類(10点) | 藤澤 和郎 氏 |
| ・ 第四高等学校関連資料(10点) | 江上 裕之 氏 |
| ・ 金沢医学専門学校 大正五年 卒業記念アルバム(「署名」1葉を含む)(1点) | 家元 幸子 氏 |
| ・ 第四高等学校の羽織(黒)(1点) | 西野 宏信 氏 |
| ・ 「石川県民の歌」楽譜(1点) | } 高田 宜美 氏 |
| ・ 「金沢大学学生歌」楽譜(2点) | |
| ・ 1926年アルバム(1点) | } 安田 広利 氏 |
| ・ 原田利三郎卒業証書(1点) | |
| ・ 原田利三郎薬剤師免許証(1点) | |
| ・ 100周年記念メダル(1点) | |
| ・ 学生集合写真(1点) | |
| ・ 式典写真(1点) | |
| ・ 石川県薬剤師会集合写真(1点) | |

編集後記

「秦風漢韻」「帝国日本と森林」「古代エジプト3000年の墓地进行掘る」「あのころの金沢大学」「コトづて」…今年度も多様なラインナップで展示を実施しています。国内外の大学や機関、博物館実習生の協力の下に結実した各展示の企画・運営をとおして、多くの出会いと学びがあります。恵まれた日々感謝しております。

(藤原真理)

金沢大学資料館だより

第71号 令和7年1月発行



[発行/編集] 金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町
TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050
Mail museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

<https://museum.w3.kanazawa-u.ac.jp>